

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成30年11月27日（火）

2 確認箇所

地下貯水槽No. 1～3付近

3 確認項目

- (1) 地下貯水槽No. 1付近の移送ポンプからの漏えい事象に係る対応状況
- (2) 地下貯水槽No. 1～3の周辺観測孔等の状況

4 確認結果の概要

- (1) 地下貯水槽 No. 1 付近の移送ポンプからの漏えい事象に係る対応状況

11月22日、地下貯水槽 No. 1 の漏えい検知孔で汲み上げた水をノッチタンクへ移送していたところ、移送途中にあるポンプから漏えいし、ポンプの受け箱から溢れて周囲の地下貯水槽の保護土（砕石）に浸透する事象が発生した（11月22日確認）。東京電力は、応急対策として汚染が確認された範囲の保護土の回収作業を実施するとしていたことから、その状況を確認した。

- ・確認時（10時30分頃）、保護土については、受け箱の周囲を格子状に区分けして十数カ所採取し、漏えい水が浸透した範囲の特定を行っていた。（写真1）
- ・保護土が採取された箇所は窪みができただため、作業員がつかずいて転倒しないようビニール養生された土のうで埋められていた。（写真2）



(写真1)



(写真2)

- (2) 地下貯水槽 No. 1～3 の周辺観測孔等の状況

上記4（1）の事象を受け、地下貯水槽 No. 1～3 付近に設置されている観測孔や漏えい検知孔、ドレン孔等の状況について確認した。

- ・いずれも目視した限り、漏えい等の異常は認められなかった。（写真3）
- ※代表して地下貯水槽 No. 1 付近の周辺観測孔等を撮影した写真を掲載



(写真 3 - 1)
周辺観測孔①



(写真 3 - 2)
周辺観測孔②



(写真 3 - 3)
漏えい検知孔



(写真 3 - 4)
ドレン孔

- 5 プラント関連パラメータ等の確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。